

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人啓仁会 豊川さくら病院	階数	地上4階
建設地	愛知県豊川市市田町中社1, 2-3, 3-3, 4, 93, 94, 95, 96, 97, 99-3, 101-1	構造	S造
用途地域	近隣商業・準防火地域	平均居住人員	92人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年5月6日
敷地面積	4,495 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社中部建築一級建築士事務所 金子雅彦
建築面積	1,794 m <sup>2</sup>	確認日	2021年5月28日
延床面積	5,236 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社中部建築一級建築士事務所 金子雅彦



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.6

項目	スコア
音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.8

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

項目	スコア
LR1 エネルギー	3.5
LR2 資源・マテリアル	3.0
LR3 敷地外環境	3.0

3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</td> <td>7.8 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</td> <td>2.2 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	7.8 %	建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	2.2 %
外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	7.8 %				
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	2.2 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉</td> <td>なし</td> </tr> </table>	〈外装材に使用した地域性のある材料〉	なし	〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉	なし
〈外装材に使用した地域性のある材料〉	なし				
〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉	なし				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体		
					評価点	評価点				重み係数	重み係数
<b>Q 建築物の環境品質</b>											
<b>Q1 室内環境</b>											
<b>1 音環境</b>											
1.1 室内騒音レベル											
1.2 遮音											
1 開口部遮音性能											
2 界壁遮音性能											
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											
1.3 吸音											
<b>2 温熱環境</b>											
2.1 室温制御											
1 室温											
2 外皮性能											
3 ゾーン別制御性											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
<b>3 光・視環境</b>											
3.1 昼光利用											
1 昼光率											
2 方位別開口											
3 昼光利用設備											
3.2 グレア対策											
1 昼光制御											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
<b>4 空気質環境</b>											
4.1 発生源対策											
1 化学汚染物質											
4.2 換気											
1 換気量											
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮											
4.3 運用管理											
1 CO <sub>2</sub> の監視											
2 喫煙の制御											
<b>Q2 サービス性能</b>											
<b>1 機能性</b>											
1.1 機能性・使いやすさ											
1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応											
3 バリアフリー計画											
1.2 心理性・快適性											
1 広さ感・景観 (天井高)											
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画											
1.3 維持管理											
1 維持管理に配慮した設計											
2 維持管理用機能の確保											
<b>2 耐用性・信頼性</b>											
2.1 耐震・免震・制震・制振											
1 耐震性(建物のこわれにくさ)											
2 免震・制震・制振性能											
2.2 部品・部材の耐用年数											
1 躯体材料の耐用年数											
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔											
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											
4 空調換気ダクトの更新必要間隔											
5 空調・給排水配管の更新必要間隔											
6 主要設備機器の更新必要間隔											
2.4 信頼性											
1 空調・換気設備											
2 給排水・衛生設備											
3 電気設備											
4 機械・配管支持方法											
5 通信・情報設備											

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				0.3	3.0	0.31	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	3.0	0.60		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			②	0.3	3.0	0.38				
1 空調配管の更新性				-	3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30				1.8
1 生物環境の保全と創出			独自③		1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性					-					3.2
LR1 エネルギー					-	0.40				3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.75	3.0	5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20				3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.81	3.0	2.9	0.30				2.9
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50				
集合住宅の評価				-	-	-				
4.1 モニタリング				-	-	-				
4.2 運用管理体制				-	3.0	-				
LR2 資源・マテリアル					-	0.30				3.0
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15				3.4
1.1 節水				3.0	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			節水コマに加え省水機器を使用している	0.6	3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63				2.7
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	3.0	1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	2.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	躯体と仕上げ材が容易に分別できる	3.0	4.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	4.0	0.68				
1 消火剤				-	-	-				
2 発泡剤(断熱材等)				-	4.0	0.50				
3 冷媒				3.0	4.0	0.50				
LR3 敷地外環境					-	0.30				3.0
1 地球温暖化への配慮			①		3.6	0.33				3.6
2 地域環境への配慮				0.3	2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			独自		4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40				
1 騒音			独自	-	3.0	1.00				
2 振動			独自	-	-	-				
3 悪臭				-	-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40				
1 風害の抑制				-	3.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-	-				
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70				
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

医療法人啓仁会 豊川さくら病院

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>			<b>3.6</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10
<b>② 資源の有効活用</b>			<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19
<b>③ 敷地内の緑化</b>			<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09
			外構緑化:7.8%/建物緑化:2.2%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 医療法人啓仁会 豊川さくら病院

計画上の配慮事項	
総合	広々とした居室と環境に配慮した設計
Q1 室内環境	床・壁・天井のほぼ全面に☆☆☆☆を使用 自然換気1/15以上 館内禁煙
Q2 サービス性能	個室10㎡以上かつ多床室8㎡以上 住居部天井高2.5m以上
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化指数7.8%
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> 0.75 BPI <sub>m</sub> 0.81
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別できる
LR3 敷地外環境	管理車両や荷捌履きスペースの確保
その他	